

沖縄県平和祈念資料館だより

第17回特別企画展の開催報告

特別企画展では、第14回からハワイ、サイパン島・テニアン島、台湾・フィリピンと、移民として渡った土地で戦禍に巻き込まれたウチナンチュを取り上げました。第17回目の今年度特別企画展では旧満洲を取り上げました。

旧満洲には、就職のため満洲に渡った方、国策による一般開拓員や満蒙開拓青少年義勇軍等、沖縄県からも多くの方が移民しました。企画展では満洲国建国の歴史の経緯とともに旧満洲に渡った沖縄県民の戦前・戦後の様子を紹介し、戦争に翻弄された人々の実相を伝えることにより、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会としていただきました。来場者からは、企画展の意図を汲んだ意見をいただくことができました。

1. 名 称：『ウチナンチュが見た満洲 ～『旧満洲国』・『偽満洲国』～』

2. 開催期間：平成28年10月7日(土)～12月11日(土) 沖縄県平和祈念資料館
：平成29年 1月21日(土)～2月23日(木) 八重山平和祈念館

3. 展示内容

第I章 雄飛を夢見た大地 旧満洲

旧満洲の歩み 「旧満洲国」の概要 南満洲鉄道株式会社

第II章 ウチナンチュの足跡

旧満洲国のウチナンチュ 旧満洲国への送出者数 沖縄県から満洲へ
満洲移民を支える沖縄県立農林学校 一般開拓団 自由移民

第III章 戦に翻弄された沖縄

満蒙開拓青少年義勇軍 「旧満洲国」で兵役についたウチナンチュ
関東軍 戦時遭難船 中国残留邦人



特別講座（シンポジウム）「“回想”～遙かなる大地、満洲～」

平成28年度特別企画展「ウチナンチュが見た満洲」(平成28年10月9日～12月11日)の関連催事として、異郷の地で逞しく生きてきたウチナンチュの姿や終戦後の苦労した引揚げの様子等、満洲生活体験者を中心にシンポジウム形式でそれぞれの思いを伝えました。

- 日 時：平成28年11月5日(土)午後2時～4時
 - 場 所：沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室
 - タイトル：「“回想”～遙かなる大地、満洲～」
 - パネリスト：名城郁子氏(沖縄満洲会会長)
根間忠男氏(旧満洲生活体験者)
伊波盛吉氏(元中国在留邦人)
比屋根美代子氏(沖縄女性史を考える会)
- 参加者：125名



博物館学芸員実習

平和祈念資料館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための支援を行っています。具体的には資料収集・保存活動、調査研究活動、展示活動、教育普及活動などいわゆる学芸業務全般についての研修を集中的に行います。この実習は、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供するものです。従来の活動に加え、実習生それぞれが作成した平和講話の発表会を最終日に実施しました。

[期 間]

平成28年8月18日(木)～8月26日(金)
※20日(土)21日(日)を除く(7日間)

[内 容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- ④ 調査研究
- ⑤ 平和講話資料作成及び実施



実習の様子

[実習生]

沖縄国際大学 2名
南九州大学 1名 計3名

平成28年度 第4回子ども・プロセス企画展 『沖縄の米軍基地と人権 -くり返される事件・事故-』

日本にある米軍専用施設の約70%が、沖縄県内に集中しています。沖縄戦以降、米軍基地に関係する事件・事故がくり返され、県民は苦しみと不安に耐えています。また、広大な米軍基地は、沖縄県の社会的・経済的発展をさまたげています。

今回の企画展では、沖縄県に存在する米軍基地の概要について、子どもたちが学習できる内容にしました。開催中に発生した米軍機不時着事故なども展示に反映させ、身近に起きている重大な問題であることを伝えました。

[期間] 平成28年12月9日(金)
～平成29年2月19日(日)

[場所] 1階 子ども・プロセス展示室



平成28年度 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。



- 〈日 時〉平成29年2月8日(水) 13:30～16:30
〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室
〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者
〈講習内容〉平和行政・資料館の概要(設立理念等)について 20分
 沖縄戦について 55分
 常設展示室・主な事業について 45分
 常設展示室・子どもプロセス展見学 50分
〈受講者〉18名

インターンシップ受け入れ報告

児童生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童生徒を受け入れています。平成28年度は、市立中学校1校及び県立高校5校から15名のインターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ生を受け入れる事により、明るく爽やかな雰囲気が生まれ、当館の職場活性化にもつながりました。

インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが自分の個性を発揮し、将来地域のために活躍できる人材になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- ① 糸満市立糸満中学校 (4名) 10月31日(月)～11月2日(水)
- ② 沖縄県立豊見城南高等学校 (2名) 11月9日(水)～11日(金)
- ③ 沖縄県立糸満高等学校 (2名) 11月9日(水)～11日(金)
- ④ 沖縄県立小禄高等学校 (2名) 11月15日(火)～17日(木)
- ⑤ 沖縄県立豊見城高等学校 (2名) 11月16日(水)～18日(金)
- ⑥ 沖縄県立向陽高等学校 (3名) 12月14日(水)～16日(金)

[主な実習内容]

- ・資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・展示室の清掃及び管理
- ・情報ライブラリー業務
- ・平和の礎の清掃



図録の作業に集中(豊見城高校・小禄高校)



展示室を清掃(豊見城南高校・糸満高校)

「戦世の記憶」 平和発信強化事業

沖縄県平和祈念資料館では沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを発信するために次の事業を行っています。

1. 戦争体験者証言映像収録編集

平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信するため当館がこれまで保管していない新規30名の証言収録を行い公開します。

沖縄本島：20名、離島：（宮古・久米島）10名

※外地も対象としています。



（収録の様子）

2. 戦争体験証言の多言語翻訳

沖縄戦体験者の証言を通じて、外国語を母国語とする人たちが沖縄戦の実相を理解し、平和について考えることができるような資料とするため、当館保管の戦争体験証言数点を多言語翻訳し、公開します。

※多言語化＝英語、中国語（簡体字）、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレーシア語

3. 保管資料のデジタル化

当館保管の沖縄戦関連資料のデジタル化を行いました。具体的には、沖縄戦証言ビデオテープ等のデジタル化、米軍沖縄戦フィルム等のデジタル化、沖縄県遺族連合会資料のデジタル化を行いました。



（資料デジタル化作業の様子）

JICA草の根技術協力事業（2016年6月～2017年6月）

「沖縄・カンボジア 博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」

実施主体：JICA 沖縄 主催：沖縄平和協力センター 協力：沖縄県平和祈念資料館

2009年～2015年にかけて沖縄県が行ったJICA事業の後継事業として実施中です。対象であるカンボジア王国プノンペン市にあるトゥール・スレン虐殺博物館の教育普及チームに対して、平和教育の普及に関するスキルを伝えています。昨年8月には、当館学芸班より2名の職員を専門家として現地に派遣するとともに、公募によって選ばれた県内高校教員1名にも同行してもらいました。同9月には、カンボジアから教育普及チームの若手リーダー2名が来県し、平和教育に関する研修を行いました。県立首里高等学校の協力により、研修員による公開授業も実施しました。また、同12月には、県立八重山商工高等学校にて派遣教員による公開授業も行いました。カンボジア側でも平和教育普及に向けて「学習の手引き」「平和講話指導計画」が作成されるとともに、博物館の運営理念も策定されるなど、プロジェクトの成果が現れつつあります。来る4月22日は、当館祈念ホールにて成果報告を兼ねたシンポジウム開催も予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。



（トゥール・スレン虐殺博物館での研修）

平成28年度 友の会講話・ガイド活動実績件数 平成28年4月～平成29年1月

(1) 平和講話・ガイド実績

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高校	49(県内3)	11,304	54
中学校	57(県内9)	6,927	57
小学校	19(県内18)	9,171	19
その他	40	1,221	59
合計	165	28,623	189

(2) 常設展示室解説員 配置実績29人

(3) 平和祈念財団こいのぼり掲揚式への協力

(4) 平成28年度友の会総会 5月14日(土)

(5) 学習会：平和学習ウォーク 5月28日(土)

(6) 学習会：わくこえ学習 9月3日(土)

「摩文仁での戦争体験者の証言を聞く」

講師 吉嶺全一氏

(7) 平和祈念財団 平和祈念公園愛護活動への協力

(8) 学習会：沖縄県平和祈念資料館特別講座 11月5日(土)

「回想 遙かなる満洲 シンポジウム」

パネラー 名城郁子氏、比屋根美代子氏、

根間忠男氏、伊波盛吉氏

寄贈品紹介

(1) 実物資料

10個人・0団体から、10件18点の資料寄贈がありました。

※平成29年1月21日現在

No	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H28.4.11	防毒マスク一式	1	宮城 忠雄
2	H28.5.11	手紙・写真	4	普久原 和男
3	H28.5.17	銃剣・砲弾の破片・瓶	3	吉江 史扇
4	H28.5.17	沖縄籍の証明書	1	石垣 巖
5	H28.6.19	手記	1	桃原 肇
6	H28.6.19	銃弾(M2)	1	金城 尚太
7	H28.6.20	砲弾・砲弾の破片	3	瑞慶覧 長政
8	H28.8.25	運転免許証	1	島袋 文雄
9	H28.9.2	砲弾の破片・写真	2	宮城 勉
10	H28.12.12	双眼鏡	1	加藤 秀剛

(2) 図書資料

5名の方から、8点の図書資料寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

※平成29年1月21日現在

No	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H28.4.14	書籍『あの日僕らは戦場で』	1	今 理織
2	H28.5.8	映画『ピカドン』『最後の空襲』他1冊	3	木下 小夜子
3	H28.8.10	CD『みるく世がやゆら』	1	萩 京子
4	H28.10.16	絵本『僕は石敢當』他1冊	2	今 秀子
5	H28.12.7	地域史『吉里達雄戦後資料集』	1	金城 秀範

資料の貸出について

当館では、沖縄戦関係の写真パネル、砲弾の破片、ガスマスク、手榴弾などの実物資料、沖縄戦に関する絵、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ等の貸出を県内外の学校、公共機関、平和団体などに行っています。

今年度は、87件、536点の資料を貸し出しました。県内では、小中高校を中心にした平和学習等に活用され、県外からは学校での平和学習及び修学旅行の事前学習の他に、平和に関する展示会にも活用していただきました。

これからも資料貸出を通して沖縄戦の実相を伝え、沖縄の「平和の心」を県内外へ伝えていきたいと思ひます。



(貸出資料：砲弾の破片・ガスマスク)



(貸出資料：パネル・ビデオ・学習キット)

※貸出可能な資料の写真や「貸出申請書」等は当館のホームページに掲載しています。詳しくは当館へお電話下さい。

八重山平和祈念館平成28年度下半期事業実施報告

(1) 夏休み企画「調べ学習相談室、体験学習コーナー」

【期間】平成28年8月9日（火）～8月28日（日）

夏休み期間中、戦争マラリアや平和について調べたい児童生徒向けにテーマの決め方や資料の利用の仕方、まとめ方などをアドバイスする相談会を実施しました。

また、体験学習コーナーでは、ソテツの葉を利用した虫かごづくりを体験してもらいました。

その他、戦争や平和に関するアニメの上映を行い、夏休み中の子どもたちが鑑賞に訪れていました。



(2) 企画展「沖縄の戦時船舶と尖閣列島戦時遭難事件」

【期間】平成28年10月29日（土）～11月27日（日）

海に囲まれた八重山では、船は昔から欠かせない乗り物でした。

本企画展は、八重山における船の歴史を振り返り、また、戦時遭難船舶の実相を紹介しました。後半では、戦争末期に多くの犠牲者を出した尖閣列島戦時遭難事件を取り上げました。

訪れた方からは、「八重山の昔の写真がもっとみたい」「厳しい時代があったことを痛感した」等の意見が寄せられました。



(3) 第17回特別企画展（八重山会場）

「ウチナンチュが見た満洲～「旧満洲国」・「偽満洲国」～」

【期間】平成29年1月21日（土）～2月23日（木）

本館での開催に引き続き、移動展を行いました。

旧満洲へ移民したウチナンチュについて取り上げた内容でした。

八重山での開会式には、高校生にも参加していただき、式の後も熱心に展示をみていました。若い世代にも平和について改めて考える良い機会となりました。



沖縄・ベトナム「子ども達が見た戦争と平和」絵画展

戦争を経験した沖縄とベトナムの子ども達が描いた絵を通して平和へのメッセージを伝えようと、沖縄県立博物館・美術館において、12月20日から25日までの期間沖縄・ベトナム「子ども達が見た戦争と平和」絵画展実行委員会による絵画展が開催されました。ベトナムからは、ベトナム戦争証跡博物館が公募し入選した子ども達の絵が出展され、当館からも児童・生徒の平和メッセージ展作品50点の展示協力を行いました。



OKINAWA PREFECTURAL
PEACE MEMORIAL MUSEUM

沖縄県平和祈念資料館

平成29年度
年間スケジュール
Event Schedule
2017.4
2018.3

開館時間

午前9時～午後5時
(常設展示室への入室は午後4時30分まで)

休館日

・年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料(常設展示室)

	個人	団体 (20名以上)
大人	300円	240円
小人	150円	100円

住所 〒901-0333

沖縄県糸満市字摩文仁 614-1

Tel 098-997-3844

Fax 098-997-3947

HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

Mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

		企画展							催し物など
4月	日	月	火	水	木	金	土	第5回 子ども プロセス企画展 3/16(木) ～5/15(月)	◆4日(火) 学校向け平和講話等 利用説明会 ◆22日(土) JICA教育関連 シンポジウム
	1	2	3	4	5	6	7		
5月	日	月	火	水	木	金	土	第1回 子ども プロセス企画展 5/25(木) ～7/10(月)	◆5日(金) 子供の日ビデオ上映会
	1	2	3	4	5	6	7		
6月	日	月	火	水	木	金	土	第2回 子ども プロセス企画展 7/21(金) ～8/31(木)	◆23日(金)慰霊の日 ・入館料無料 ・沖縄戦関連映画上映
	1	2	3	4	5	6	7		
7月	日	月	火	水	木	金	土	第3回 子ども プロセス企画展 9/14(木) ～11/23(木)	◆1日(土)～8/12(土) 広島原爆展 ◆夏休み子ども向け企画 ・ビデオ上映会 ・親子平和学習会 ・自由研究相談室 ・夏休み子ども教室
	1	2	3	4	5	6	7		
8月	日	月	火	水	木	金	土	特別企画展 10/5(木) ～12/10(日)	◆特別講座
	1	2	3	4	5	6	7		
9月	日	月	火	水	木	金	土	第4回 子ども プロセス企画展 12/4(月) ～2/18(日)	◆資料館講習会
	1	2	3	4	5	6	7		
10月	日	月	火	水	木	金	土	第5回 子ども プロセス企画展 3/1(木) ～5/15(火)	
	1	2	3	4	5	6	7		
11月	日	月	火	水	木	金	土	新収蔵品展	
	1	2	3	4	5	6	7		
12月	日	月	火	水	木	金	土		
	1	2	3	4	5	6	7		
1月	日	月	火	水	木	金	土		
	1	2	3	4	5	6	7		
2月	日	月	火	水	木	金	土		
	1	2	3	4	5	6	7		
3月	日	月	火	水	木	金	土		
	1	2	3	4	5	6	7		

※●は休館日

※行事内容・日程は都合により変更になる場合があります。

第27回 児童・生徒の平和メッセージ(図画・作文・詩)作品募集要項

1. 募集対象

沖縄県内の小・中・高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

2. 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名(フリガナ)、題名を必ず応募ラベルに記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙(四つ切り、38cm×54cm)を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。
- 図画には文字のメッセージは入れない。

<作文部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー(市販用紙を複製したもの)を使用しない。(小学校1, 2年生は200字詰め原稿用紙可)
- 小学校1, 2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3, 4年生は3枚程度、小学校5, 6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出(代筆不可)する。
- ※ 特別支援学校及び特別支援学級については、学年を問わず2～3枚程度とする。また、障がいの程度に応じて代筆可とする。

<詩部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー(市販用紙を複製したもの)を使用しない。(小学校1, 2年生は200字詰め原稿用紙可)
- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出(代筆不可)する。
- ※ 特別支援学校及び特別支援学級については、障がいの程度に応じて代筆可とする。

3. 募集期間

平成29年5月1日(月)～5月21日(日)
※〆切 5月21日(日)17:00必着。
(当館持ち込み可)

4. 作品の送り先

〒901-0333 糸満市摩文仁614番地の1
沖縄県平和祈念資料館
(電話:098-997-3844・
FAX:098-997-3947)



第26回 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 特別支援の部 最優秀賞

「三つの風便り」

沖縄市立安慶田小学校 6年 ^{うえま}上間 ^{りりか}鈴華

戦争の思い出は ここにある
この土地の中で吹きあれた
争い事は沖縄の空中をかけ回る
「生きていてくれ」

「皆、はなれちゃいけないよ」

月桃の花が 赤い風に吹かれて飛び散って行く

雨のように降りそそぐ爆弾

蟻達のように逃げ回る人々のさけび声

「美ら島が 泣いている」

「美ら島が 血に染まる」

六月二十三日の風が 全ての時間を止める

六月の風は 全てをうばう なみだ風

あれから七十一年が過ぎ この風は平和の風へと変化した

初夏の香りが 一面に広がる青い空

平和の風は 青空で遊び森をゆらす

葉っぱがおどり キジムナーは木々の中を駆けめぐる

「よかったね」

「みんな平和が大好きだ」

やさしい風は 月桃の花を白く輝かせ人々を笑顔にさせる

平和の風は 生きるための 笑顔風

今年も水無月が やってきた

元気な風を連れて やってきた

私の風を吹かそう

あなたとともに

これから世界中へむけて

生き物の喜びや 人々の笑顔が 地球を包む

あなたの風は どんな風ですか

人と人 国と国 生きている者達を

見つめていますか

私とあなたはきっと

温かい手と手をつなぐ 未来風

資料のご提供について

戦後72年が経過した現在、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくことになります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいますよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次世代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何ができるかを考えてもらうきっかけとなるよう、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室のみどころ等です。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。年間を通して実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては込み合いますので早めの御予約をお願いします。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
E-MAIL webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp



日本平和博物館会誌
ASSOCIATION OF JAPANESE PEACE MUSEUMS